

保護者の皆様

体験学習・ゼミ学習の申込みについて

「子ども大学かまくら」では、特別企画講座として、通常の年5回の講義による授業の他に、希望者を対象にして、少人数による参加型の体験学習ならびにゼミ学習を行っています。

ここでは、体験学習2つとゼミ学習3つの学習プログラムをご案内すると同時に、希望者を募集いたします。申込み方法をお読みいただき、希望される方はホームページの専用サイトからお申し込みください

全体的なねらいについて

子ども達の積極的な参画を前提に、体験学習では、本物の文化財や作品、現実の研究・生産・ビジネス活動などに触れながら、歴史・文化や科学技術、産業や社会を学びます。また、ゼミ学習では、自分自身で主体的に調査研究やものづくりなどに取り組み、物事の理解や独創力発揮を実感してもらいます

各特別企画学習講座のプログラム

(E1) 体験学習 A

◆テーマ「和の食文化“そば打ち”を体験しよう」

◆ねらい

和の代表的な食の一つである“そば”の歴史・位置づけとともに、その材料に触れ、打ち方を匠（たくみ）の皆さんから学ぶ。小グループに分かれ、伝統的な道具による“そば打ち”を実際、自ら体験するとともに、でき上がった成果物を試食して、和の食文化の魅力（みりよく）を実感する

◆指導：内田直生先生、他（TOKYO 蕎麦塾）

◆開催日時：夏休み半ばの平日の1回

8/9(木) 9:30～14:00の4時間半

（ただし、そばの試食を含む）

◆場所：鎌倉市福祉センターの調理室

（鎌倉市立中央図書館の隣）

◆募集定員：20名（小学4～6年生）

◆参加費：500円／学生1名（当日徴収）

◆学習概要

- ・ 9:30～オリエンテーション
そば文化についての学び
- ・ 9:40～模範（もはん）打ちの見学
- ・ 10:20～学生による練習打ち
（水回し、延し、切り）
- ・ 12:00～片づけ・試食の準備
- ・ 12:30～試食
- ・ 13:10～片づけ・室内の掃除（そうじ）
- ・ 13:40～学生による質疑・感想、アンケート記入



(E2) 体験学習 B

◆テーマ「“ドローン”はすごいー操縦もしてみよう」

◆ねらい

近年、上空からの観察・撮影や物資輸送のための遠隔操作による飛行体としてドローンの活躍が注目されており、鎌倉でも防災やテロ対策、景観・建物の記録な

どへのドローンの活用に取り組んでいる NPO がある。本講座では同団体の協力を得て、ドローンについて、飛行原理や機能、活用分野や使用上の心構えなどについて学習するとともに、小型の実機モデル(※)で操縦操作を体験する

※身体に当たっても怪我の心配はありません

◆指導：青柳正紀先生、他（鎌倉ドローン協会）

◆開催日時：夏休み前半の平日の1回
8/3(金) 10:00～12:00 の2時間

◆場所：鎌倉市立御成小学校の体育館
（鎌倉市役所本庁近く）

◆募集定員：30名（小学4～6年生）

◆参加費：500円／学生1名（当日徴収）

◆学習概要

- ・10:00～説明コーナー「ドローンとは」（飛行原理、性能・機能、用途、リスク、使用上の倫理的な心構え）
- ・10:30～シミュレータによる模擬（もぎ）操縦
- ・11:00～小型の実機モデルでの操縦体験
- ・11:45～学生による質疑・感想、アンケート記入



(S1) ゼミ学習 A

◆テーマ「文章を書くコツを伝授(でんじゅ)します」

◆ねらい

相手の言うことを理解し、自分の考えを深め、相手に伝える能力が求められている。文章を書くためのコツを3回の連続講座で実習を通して身につけてもらう

◆講師：横川和夫先生（子ども大学かまくら副理事長・元共同通信論説兼編集委員）

◆開催日時：夏休み前半の平日の計3回
1回目 7/27(金) 10:00～12:00
2回目 7/30(月) 10:00～12:00
3回目 7/31(火) 10:00～12:00

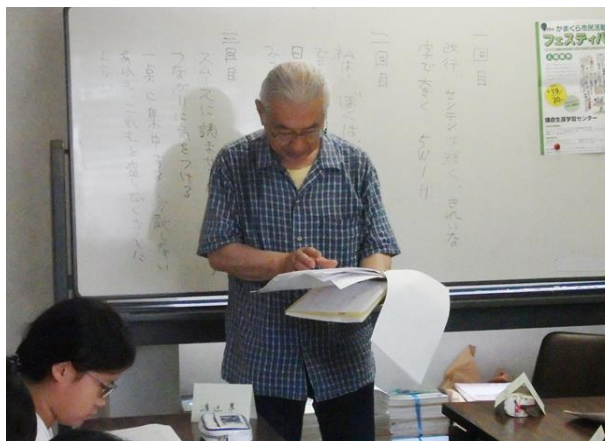
◆場所：NPOセンター鎌倉の2F会議室
（鎌倉市役所のトンネル側に隣接）

◆募集定員：10名（小学5、6年生）

◆参加費：3回の学習分を合わせて、
1500円／学生1名（初回に徴収）

◆学習概要

- 1回目：文章書きの基本ルール、身近なテーマで作文①
- 2回目：作文の添削の解説、興味・関心テーマで作文②
- 3回目：一味違った文章を書くために、それを踏まえ作文③



(S2) ゼミ学習 B

◆テーマ「わが町かまぐらりの景観まちづくりマップを創ろう」

◆ねらい

私たちかまぐらりのまちの景観に注目します。観光地や商店街、住宅地などを含めた一定区間のまちなかを踏査し、景観の特徴、魅力を抽出。そのまちらしいかまぐらりの風情や景観特性を共有します。続いて、ヒアリングや取材、資料調査を通じて、その内容、作られ方、経緯などを明らかにし、それらの位置を考慮しながら見学コースを設定、解説するマップの素材を集めます。写真撮影からイラスト作成、グラフィック上の工夫を凝らしてコースマップを作成します

◆講師：志村直愛先生（東北芸術工科大学教授）

[協力： 鎌倉歴史文化交流館]

◆開催日時、場所：夏休み後半の平日の計3回

1回目 8/17(金) 9:30~12:00

NPO センター鎌倉でオリエンテーション後

[地域の景観コース散策]

(例：①鎌倉駅から八幡宮まで、②鎌倉駅から和田塚駅まで、③長谷駅から文学館まで)

2回目 8/20(月) 10:00~12:30

[歴史文化交流館の交流室]

3回目 8/23(木) 10:00~12:30

[歴史文化交流館の交流室]

◆募集定員：30名（小学4~6年生）

◆参加費：3回の学習分を合わせて、1500円/学生1名（初回に徴収）

◆学習概要

1回目：わが町鎌倉の素敵な景観を探そう！（景観コースの観察・取材調査）

2回目：みんなに見せたい景観を選ぼう！（マップ掲載素材候補の価値評価と絞り込み）

3回目：素敵な景観マップをデザインしよう！（オリジナル景観マップのデザイン表現・作成）



(S3) ゼミ学習 C

◆テーマ「環境と暮らしをまもる近未来の住まい・くるまにふれる」

◆ねらい

地球全体の温暖化は人間が自然環境と共生していくためには乗り越えていかなければならない課題です。地球温暖化は人間の様々な活動に伴う二酸化炭素の多量の排出と関わっていますが、そうした温暖化ガス排出を抑えエコロジカルな暮らしを進めるために、生活関連の重要な近未来技術として、ゼロエネルギーハウスおよびインホイール駆動の電気自動車の開発に挑戦中の企業で、その技術を実感します

◆講師：中村和男先生（長岡技科大名誉教授）

清水浩先生（慶応義塾大学名誉教授）

風見桂三先生（㈱カネカ技術者）

[協力企業： ㈱イソダ、㈱カネカ、㈱e-Gle]

◆開催日時、場所：夏休み半ば・後半の平日の計3回

1回目 8/7(火) 10:00~12:00

[㈱イソダ（腰越）のモデルハウス]

2回目 8/21(火) 10:00~12:00

[㈱e-Gle（JR新川崎駅近く）]



3回目 8/22(水) 10:00~12:00

[楸イソダ(腰越)のモデルハウス]

- ◆募集定員：30名(小学4~6年生)
- ◆参加費：3回の学習分を合わせて、
1500円/学生1名(初回に徴収)
- ◆学習概要

- 1回目：環境とくらしをまもる生活製品とは(製品づくりから使用・廃棄まで低炭素排出化)
- 2回目：電気で効果的に動かすクルマづくりに挑戦(高効率な電力活用と運転の自動化)
- 3回目：ゼロ・エネルギー消費の家づくりをめざす(高度省エネ住宅と太陽エネルギー活用)



申込み方法など

- ◆夏休み中に行われる上記の5つの学習プログラム、すなわち2つの体験学習A、Bおよび3つのゼミ学習A、B、Cの中から、いくつでも応募できます。ただし、できるだけ多くの方がどれかの学習プログラムに参加できるように配慮いたします
- ◆応募条件について
ゼミ学習Aについては、小学4年生は応募できません
ゼミ学習A、B、Cへの応募に当たっては毎回の講座すべてに出席のこと
- ◆申込み期間
6月15日(金)~6月20日(水)
- ◆申込み方法
子ども大学かまぐらホームページの専用の申込みサイトから、5つの学習プログラム(体験学習A、Bおよびゼミ学習A、B、C)への申込みを行うこと
その際、希望する学習プログラムをすべて選択してもらい、さらにその中で第一希望の学習プログラム一つを選択して下さい

ホームページから申込みができない方は緊急連絡先からのメールで申込む
- ◆参加学生の決定および通知
学習プログラム毎に、応募者が募集定員を超えた場合には、各人の希望を考慮しながら、抽選で決定します。決定後、7月初めまでに参加の可否を各人にお知らせいたします

(注意) 本特別企画学習講座のプログラムについては保護者の参観はできません

子ども大学かまぐら理事長 田上 寛

子ども大学かまぐらHP(お申込み) www.kodomodaigaku-kamakura.jp